

団体名	備中神楽保存振興会		
	代表者	藤原 肇	記載者
	安田 雅次		
所在地(市区町村名のみ)	浅口市金光町地頭下455-1		
活動目的	備中神楽の保存と振興		
団体の紹介	<p>重要無形民俗文化財『備中神楽』の保存と振興のため平成7年1月27日に発足。</p> <p>以来、岡山公演と倉敷公演を毎年行って参りました。</p> <p>令和4年度で岡山公演と倉敷公演の鑑賞会」は第26回を迎えます。</p>		
助成を受けての活動内容	<p>コロナ禍の中で、入場数の制限もあり鑑賞会を開催することは大変難しい状況にあります。</p> <p>しかし、備中神楽の保存と振興のためにはどんな事があっても継続することが、伝統の継承につながってきます。特に神楽太夫の舞台がここ2年備中地方では激減しております。金銭的にみれば大変苦しい状況にありますが、助成を受けられる事は大変文化的価値が高く大変ありがたいです。</p> <p>3年ぶりに倉敷公演を開催しましたところ、観客の皆様、神楽太夫の皆様ともに大変喜んでいただきました。公演会を開催して本当に良かったとの思いを強く致しました。今後も、伝統に根差した備中神楽を続けて行きます。</p>		
助成を受けての成果	<p>コロナ禍で、人数制限や3年ぶりの公演が出来たことが一番の成果です。備中神楽保存振興会の目的や疾病退散祈願もかないました。</p>		
今後の活動の課題点	<p>鑑賞会を開催するにあたってコロナ対策に伴うスタッフの確保、人数制限に伴う経費の確保が課題。また、観客層の高齢化に伴う減少のため、若年者への備中神楽のすばらしさの啓蒙が課題。</p>		
問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど)			

※ このページは、財団ホームページや印刷物などで公表される資料として使用される場合があります。
A4用紙1枚程度におまとめください。(他の報告書との重複可)
写真・チラシ・パンフレット等をA4版1頁にまとめPDFもしくは、画像データでいただければ幸いです。

